

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

山形県 舟形町

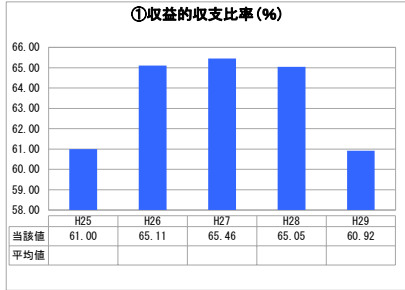
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	46.14	89.63	3.024

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
5,511	119.04	46.30
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,522	0.89	2,833.71

**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



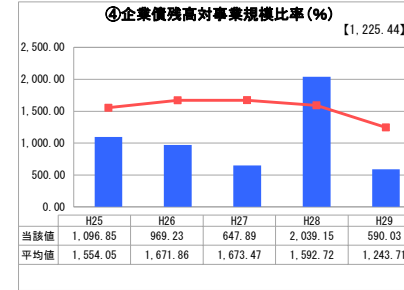
「単年度の収支」



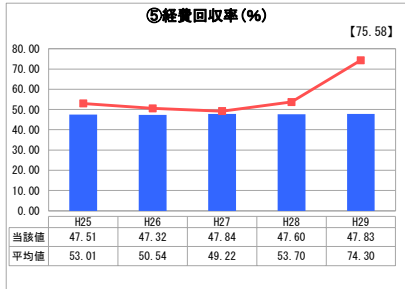
「累積欠損」



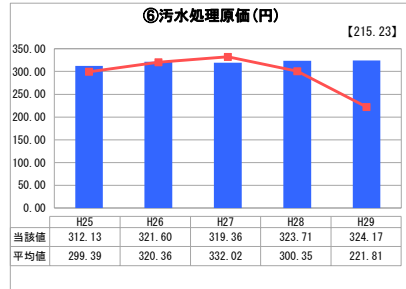
「支払能力」



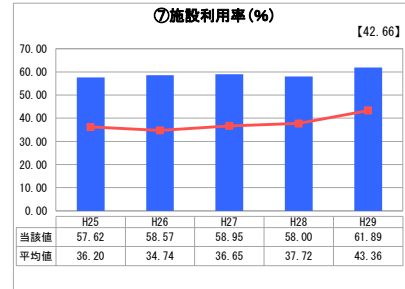
「債務残高」



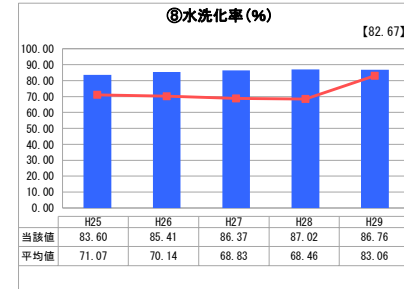
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

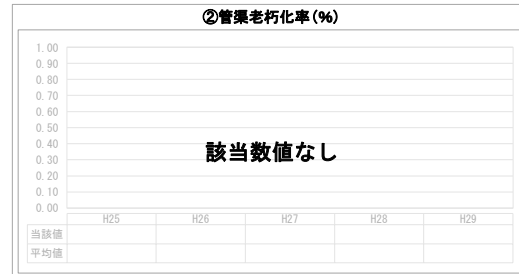


「使用料対象の捕捉」

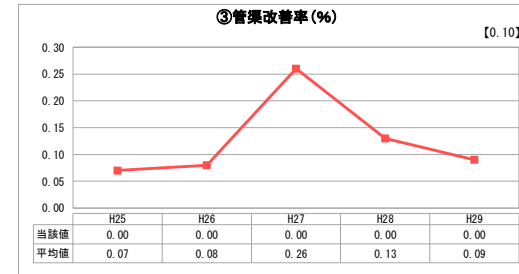
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析概

### 1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率については、補助事業実施による経費増、償還金返還がピークということもあり悪化している。

また、汚水処理原価については、まだ老朽化による故障等が少ないこともあり横ばいだが、類似団体比較ではかなり高い原価である。

企業債残高対事業規模比率については、改修、改築等の事業を実施していないこともあり、類似団体より低いが、今後老朽化対策の改築等で企業債が増加することが予想されるため、ストックマネジメント計画を策定し、計画的に老朽化対策をする必要がある。

公共下水道への新規接続も増加しているが、既接続の家屋老朽化による取り壊し等により、伸び率は横ばいとなっている。

経費回収率及び施設利用率については、下水道区域内である町中心部で子育て支援住宅やひだまりタウン宅地分譲等の成果もあり、農業集落排水区域に比べ人口減少率が非常に低いため、昨年とほぼ変わりなく、横ばいである。

しかし、類似団体と比較すると経費回収率は低く、汚水処理原価が高く推移している。

### 2. 老朽化の状況について

公共下水道については、供用開始から15年が経過しているが、処理場はまだ目立って老朽化しているところはない状況である。

しかし、電気機器等、耐用年数を過ぎているものもあり故障等が突発的に発生する可能性がある。

また、使用頻度の高い機器等は部分的に消耗しているものもあり、特にマンホールポンプ等は老朽化が顕著である。

### 全体総括

公共下水道区域は農業集落排水区域に比べ人口減少率が低く、大きな変化はないが、起債償還のピークということ、また、大きくはないといえ人口も減少してきているため料金収入は減少している。そのため、経費節約に努めて経営状態が悪化するのを遅らせることはできても、経営状態を向上させることは不可能であるため、農業集落排水事業同様に料金改定が必須であると思われる。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。  
 ※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。